

二木直巳

眺望を求めて
—小杉放菴とともに—

NAOMI FUTAKI

2014(平成26)年

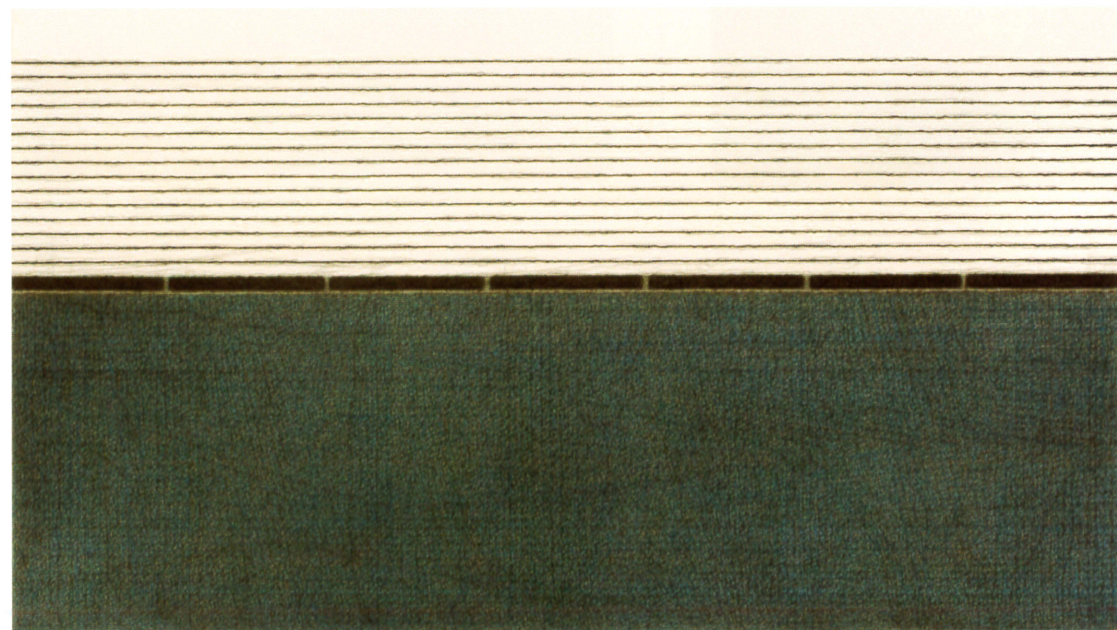
《見晴らし台 0212》(部分) 2002年 東京国立近代美術館

7月19日[土]—8月31日[日] 小杉放菴記念日光美術館

休館日:毎週月曜日(祝日のときは開館し、その翌日を休館) 開館時間:9時30分～17時(入館は16時30分まで)

主催=公益財団法人 小杉放菴記念日光美術館/日光市/日光市教育委員会

入館料:一般720(640)円、大学生510(460)円、高校生以下は無料 *()内は20名以上の団体割引料金



《見晴らし台 1107》2011年 ギャラリー アンドウ

このたび、小杉放菴記念日光美術館では、現代美術の作品と小杉放菴の作品を対比的に展示する企画の第二弾として、「二木直巳 眺望を求めて—小杉放菴とともに—」展を開催いたします。

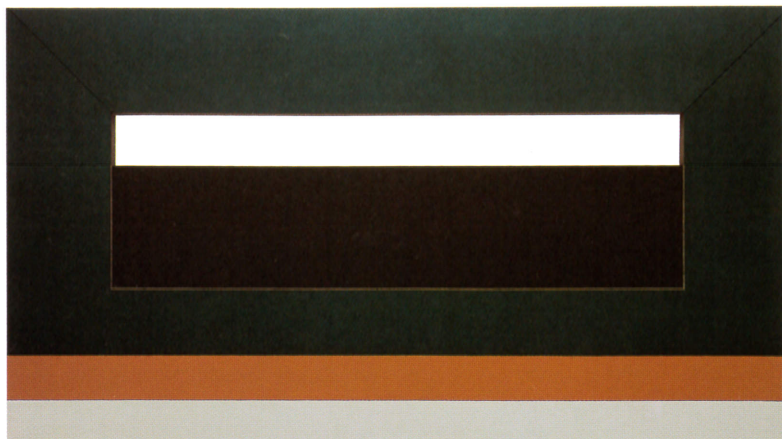
二木直巳氏は、武蔵野美術大学造形学部彫刻学科を中退後、長年にわたり、とくに、個展を中心に作品の発表を続けてこられました。その作品の傾向はいくたびかの変転を見せましたが、ここ20年以上は「見晴らし台」と称す

るシリーズの制作が続けられています。この一連の作品は、横長の紙の画面を上下に三分して、上段は白いまま残し、中段には画家が「eye-rail」(目すり/視覚の欄干)と呼ぶ目盛のような区画を設け、全体の4分の3以上の面積を占める下段に鉛筆や、青や緑の寒色系の色鉛筆で、ひたすらに線を重ねて引き続けるという厳格な形式と手順に従って制作されており、実に特異な絵画の在り方と言えるでしょう。

そして、これらの作品では、確固とした形象が保持されると同時に、その枠組みの中で、フリーハンドで引かれる線の偶然性も存在し、繊細でありながらも力強く、観念的でありながら物質性も感じさせ、理性的でありながら感覚的でもあるなど、相反する指向が包括され、このことが豊かな絵画空間を現出させていると高く評価されています。

今回の展覧会は、このような独自の

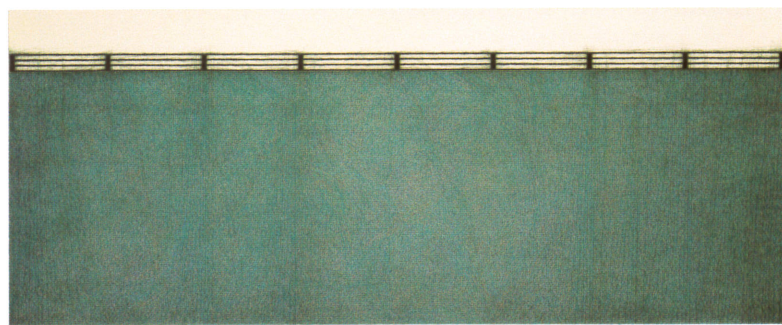
方法により、孤高の制作を続けてこられた二木直巳氏に、自作と、当館が所蔵している小杉放菴の作品とを組み合わせ合わせた展示を構成していただき、その対照の中で両者の作品における「眺望」が意味するものを手掛かりとし、「絵画」の本質を探ることができるのではないかという意図で企画されました。まったく異なる相貌を示すふたりの作品の邂逅が、どのような展示効果をもたらすのか、御期待ください。



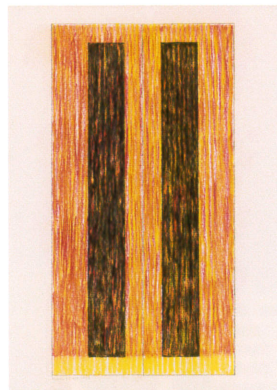
《パティオ 84A1》1984年



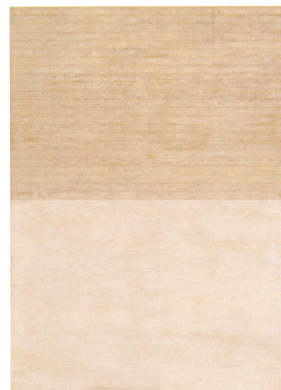
《見晴らし台 9906》1999年



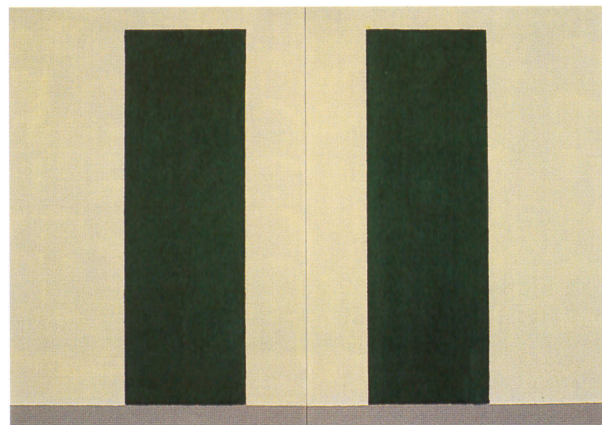
《見晴らし台 0212》2002年 東京国立近代美術館



《無題 7903》1979年



《無題 7717》1977年



《ポロニウス 7904》1979年

二木直巳 眺望を求めて —小杉放菴とともに—



小杉未醒《風景習作》 小杉放菴記念日光美術館蔵

■ 親子で楽しむワークショップ 1

「虹色いろいろ—色えんぴつアート」

日時:7月27日(日)

第1回目 10時から12時まで

第2回目 14時から16時まで

講師:やないふみえ氏(童画家)

対象=おもに親子対象ですがどなたでも参加できます。

定員=各回20名(申し込み先着順)

参加料=無料

持ち物=色えんぴつ、ハサミ、スティックのり

■ 親子で楽しむワークショップ 2

「葉っぱでパッタを折ってみよう!」

日時:8月3日(日)

10時から12時30分まで

講師:池田正光氏(エコアーティスト)

対象=小学3年生以上のお子さんとその保護者

定員=20名(申し込み先着順)

参加料=500円(作品制作・展示室観覧・飲み物付き)

持ち物=ハサミ

——— 親子で楽しむワークショップ 1, 2

参加方法=美術館へ電話で申し込む

(7月4日より受付開始)

■ 二木直巳氏によるギャラリートーク

日時:8月2日(土)

14時から15時30分まで

講師:二木直巳氏(画家)

参加料=入館料のみでご参加いただけます。

参加方法=事前の申し込みは必要ありません。

参加を希望される方は、13時50分までに美術館の受付前にお集まりください。

■ 二木直巳氏によるワークショップ

「線で描こう—記憶の中の日光」

日時:8月17日(日)

10時から12時30分まで

講師:二木直巳氏(画家)

対象=中学生以上

定員=20名(申し込み先着順)

参加料=500円(作品制作・展示室観覧・飲み物付き)

参加方法=美術館へ電話で申し込む(8月1日より受付開始)

【交通案内】

東武日光駅、JR日光駅から清滝・細尾、中禅寺・湯元、西参道(東照宮)方面行きバス5分、

「神橋停留所」下車、徒歩3分

日光宇都宮道路・日光インターから約2km



小杉放菴記念日光美術館

〒321-1431 栃木県日光市山内2388-3

Tel. 0288-50-1200

IRI <http://www.khman.in/>